

ジュニパーデータセンタービルディングブロック

必要に応じて拡張および適応できる最新のデータセンター

課題

多くの組織は、ITインフラストラクチャに変更を加えることが難しいために、成長やイノベーションを実現することができません。インフラストラクチャは、組織の競争力を制限するものであってはなりません。ジュニパーのビルディングブロックソリューションは、自動化されたスケーラブルなデータセンターを実現し、それを加速することで変化への対応をサポートします。

ソリューション

ビルディングブロックは、ジュニパーのデータセンタースイッチとJuniper Apstraソフトウェアを組み合わせた、ジュニパーで検証済みのターンキーネットワークソリューションです。ビルディングブロックは、ジュニパーのベストプラクティスとApstraソフトウェアの既製の設計図を基にした、スケーラブルで繰り返しの利用が可能な設計です。

メリット

- さまざまなアプリケーションやシステムで実証およびテストされたベストプラクティスと設計を導入可能
- 最大1,624個のHA(高可用性)ポートに対応し、スケーラブルなデータセンターファブリックアーキテクチャをサポート
- ネットワークインフラストラクチャサービスの提供や、ネットワーク変更の実装にかかる時間を大幅に短縮

アプリケーションとデジタルサービスの迅速な提供というビジネスの新しい要件に対応します。ターンキー型で検証済みのビルディングブロックは、データセンターアーキテクチャを最新化し、日々の運用を自動化することで、信頼性の高いスケーラブルなネットワークファブリックの実現をサポートします。

ジュニパーのデータセンタービルディングブロックとは？

ジュニパーのデータセンタービルディングブロックは、ネットワーク運用チームがデータセンターを構築および最新化することを容易にするターンキーソリューションです。ITチームは、この検証済みの個別ユニットまたはビルディングブロックを使用して、カスタマイズされたデータセンターを作成できます。このようなビルディングブロックにより、設計上の決定の基準は「望ましいビジネス成果は何か?」および「容量要件は何か?」という問いに集約され、迅速な導入とシームレスな成長を実現する実証済みの構成を提供します。

ビルディングブロックのスタイル

データセンターのコア

- Juniper® Apstra
- Juniper Network® QFXシリーズスイッチ
 - スパイン(QFX5210-64C-AFO2) x 2
 - リーフ(QFX5120-48Y-AFO2) x 2
 - ボーダーリーフ(QFX10002-36Q) x 2

データセンターリーフ

- Juniper Apstra
- QFXシリーズリーフ(QFX5210-64C-AFO2) x 4

ボーダーセキュリティ

- 次世代ファイアウォール x 2
- 高度なセキュリティライセンス

課題

今日のデータセンターネットワークアーキテクチャと運用チームは、4つの課題に直面しています。その課題とは、設計、確実な変更、延伸性、拡張性です。そのため、データセンターネットワークの構築、導入、運用、管理、トラブルシューティングは困難で高額な費用を伴うものになります。

ジュニパーのデータセンタービルディングブロックは、ジュニパーのデータセンタースイッチとJuniper Apstraにセキュリティのオプションを組み合わせることで、プロセスを簡素化します。これらのビルディングブロックは、必要に応じて拡張および適応できる自動化されたデータセンターを構築して維持するのに役立ちます。

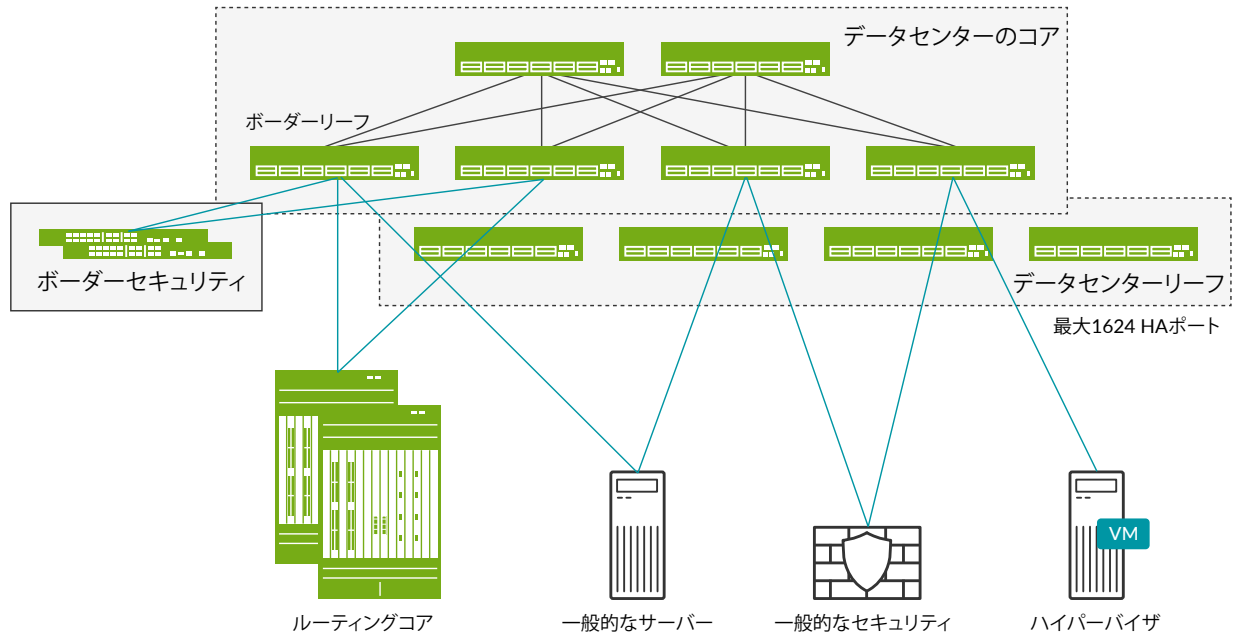


図1: ビルディングブロックは、ジュニパーのデータセンタースイッチとApstraファブリック管理ソフトウェアを組み合わせることで、繰り返しの利用が可能でスケーラブルなデータセンター設計の構築をサポートします。

ジュニパーネットワークスのデータセンタービルディングブロックソリューション

新しいターンキービルディングブロックソリューションは、intentベースのネットワーク構築、業界をリードするスイッチ、および安全なサービスゲートウェイを実証済みの構成で組み合わせることで、迅速な導入とデータセンターネットワークのシームレスな拡張を実現します。実績のあるintentベースのビルディングブロックを導入し、ゼロタッチファブリックモジュールを投入でき、拡張性を念頭に設計されたベストプラクティスアーキテクチャを使用して、4スイッチから54スイッチの導入へとシームレスに拡張できます。

これらのソリューションにより、中小規模の組織は、大規模な設計プロジェクトや長期にわたる導入プログラムを実施することなく、データセンターの運用に最新のアプローチを採用できます。

特長とメリット

スケーラブルで最適化されたビルディングブロックアーキテクチャは、将来的に最大1,624個のHAサーバーポートに拡張できる柔軟性を備えているため、現在のデータセンターに必要なものを自信を持って導入できます。ネットワークとセキュリティのビルディングブロックのインターリンクセットは徐々に拡張して新しいネットワークシステムをサポートできるため、ベアメタル、仮想マシン、コンテナ、IPストレージ、およびセキュリティサービスの接続など、多様なニーズに対応できます。

Apstraがビルディングブロックを管理することで、ZTP（ゼロタッチプロビジョニング）と事前検証済みのブループリントを使用して、新しいデータセンターを数日ではなく数時間で導入できます。Apstraは、すべてが正しく接続されていることを確認するために、自動生成されたケーブル接続計画も提供します。

ソリューションコンポーネント

- ジュニパーネットワークスのQFXシリーズスイッチは、柔軟でハイパフォーマンスなファブリックのための強力な基盤を構築します。
- Juniper Apstraは、データセンターネットワークのアーキテクチャとその運用の両方を自動化および検証し、複雑さや脆弱性、障害の発生を排除できます。
- ジュニパーネットワークスのSRXシリーズサービスゲートウェイは、比類のないパフォーマンスと拡張性により、高速で安全な高可用性のデータセンターおよびエンタープライズエッジの運用をサポートします。

まとめ:ジュニパーのビルディングブロックでデータセンターを自動化

ジュニパーのビルディングブロックを使用すると、ネットワーク変更の実装にかかる時間を大幅に短縮する自動化されたintentベースのスケーラブルなファブリックアーキテクチャにより、データセンターを拡張し、イノベーションを実現できます。現在必要なものを自信を持って導入できるだけでなく、ビジネス要件の変化に応じて柔軟に拡張することが可能になります。このソリューションを利用することで、新しい取り組みに対応する新たなワークロードと接続システムをサポートできるよう、ネットワークを柔軟に適応させることができます。

次のステップ

Juniper Apstraとビルディングブロックソリューションの詳細については、アカウント担当者にお問い合わせください。また、ジュニパーのvLabs (vlabs.juniper.net)でも、これらのイノベーションに関する情報を公開しています。vLabsでは、構築済みの仮想トポロジーに無料でアクセスして、さまざまなデータセンター構成をテストできます。

ジュニパーネットワークスについて

ジュニパーネットワークスは、世界をつなぐ製品、ソリューション、サービスを通じて、ネットワークを簡素化します。エンジニアリングのイノベーションにより、クラウド時代のネットワークの制約や複雑さを解消し、お客様とパートナー様の日々直面する困難な課題を解決します。ジュニパーネットワークスは、世界に変革をもたらす知識の共有や人類の進歩のリソースとなるのはネットワークであると考えています。私たちは、ビジネスニーズにあわせた、拡張性の高い、自動化されたセキュアなネットワークを提供するための革新的な方法の創造に取り組んでいます。

米国本社

Juniper Networks, Inc.
1133 Innovation Way
Sunnyvale, CA 94089 USA
電話番号: 888.JUNIPER (888.586.4737)
または+1.408.745.2000
FAX: +1.408.745.2100
www.juniper.net

アジアパシフィック、 ヨーロッパ、中東、アフリカ

Juniper Networks International B.V.
Boeing Avenue 240
1119 PZ Schiphol-Rijk
Amsterdam, The Netherlands
電話番号: +31.207.125.700
FAX: +31.207.125.701

日本

東京本社
ジュニパーネットワークス株式会社
〒163-1445 東京都新宿区西新宿3-20-2
東京オペラシティタワー45階
電話番号: 03-5333-7400
FAX: 03-5333-7401
西日本事務所
〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田2-2-2
ヒルトンプラザウエストオフィスタワー18階
www.juniper.net/jp

JUNIPER | Engineering
NETWORKS | Simplicity